

# 昭和 地域ニュース

7月号

No. 41  
令和3年(2021年)

発行 中野区昭区和民活動センター運営委員会  
編集 広報部会 昭和地域ニュース編集会議  
〒164-0001 中野区中野 6-16-20  
TEL : 03(3368)8164 FAX : 03(3368)8168  
E-mail:nakano\_showa@nifty.com  
http://www.nakano-showa.gr.jp/



我が家のアイドル  
ハムスターのポンズ  
ちゃん。つぶらな瞳  
が可愛いんです♥

※皆様のアイドル  
の写真をお寄せく  
ださい。

## 東中野ギンザ通り物語

高橋 立男

東中野駅前の山手通りから早稲田通りまで、北西方向に斜めに延びる「東中野ギンザ通り」は、行きかう買い物客が多く、下町の風情が残る通りです。その「東中野ギンザ通り」の移り変わりについて、昭和5年から続く高橋時計メガネ店の高橋立男様にご寄稿いただきました。

お客様に、昔は「山手通り」など無かったのだよ、と言うととても驚かれる。

昭和20年は第二次世界大戦の最後の年である。東京大空襲は3月10日の下町だけで終わるはずもなく、4月、5月と東中野も焼きはらわれた。空襲と「強制疎開」と言う荒っばいやり方で「山手通り」が出来たと言ってよい。当初は、改正道路とか呼ばれていて、中央の二車線のみが舗装されていた。

その頃、東中野ギンザ通りはまだ名前のない未舗装の土の道であった。家も店もほとんど無かった。人々が戦後の大失業期をへて、懸命に働きはじめたのが、昭和25年にはじまる朝鮮戦争の米軍特需からであった。

中野昭和小学校が開校し、更には東中野小学校が出来た。ベビーブームがやって来た。数多く、どこにでもあった原っぱでは、いつも子どもたちが遊んでいた。

焦土に家が建ち、店が出来て「東中野銀座商店会」が出来たのが昭和30年前後である。

その初期のイベントとして行ったのが、各店の看板をネオンサインに統一したことだった。多くの店が参加し、「ネオンまつり」を催したのだった。

洗濯機、冷蔵庫そして白黒テレビが売りに売れた。東京タワーが出来た。営団地下鉄の東西線が開業し「落合駅」が出来た。東中野にマンションが建つようになる。

昭和39年の東京オリンピックの頃だったと思うが、昭和通りは「早稲田通り」にその名を変えた。

江戸期を通じて中野村の村長であった「堀江家文書」には「高田通り往来」とある。昭和7年に拡幅されて今の道幅の9mになった。その年、中野町は野方町と合併して中野区となった。

東京オリンピック以後、日本は高度成長期に入る。東中野ギンザ通りにあっても、各商店の売上げは伸び続け「今年カラーテレビは買えないが、来年には買えるだろう」とまあ、そんな感じの時代だった。

「私の住んでいる東中野は変な町なのよ、スーパーが一軒もないの」。チャンと言えば総武線直通中央線の、いわゆるドンコウの電車の中での若い女性の声が耳に残った。



昭和28年頃の東中野ギンザ通り入り口  
看板のお店は「阿部酒店」  
(阿部謹一郎様 提供)

今のコンビニのような小さなスーパーは3軒あったし、肉屋は6軒を数えていた。それが東中野ギンザ通りのハンジョウの象徴であった。

だから、夕方に帰宅するサラリーマンとお買物の主婦とで、幅3.5mの東中野ギンザ通りはゴッタ返していた。「安いよ、安いよ、イチゴが安いよ」。八百丑の故島崎忠雄さんの売り声が、今も耳に残っている。



平成初め頃の東中野ギンザ通り入り口  
(阿部謹一郎様 提供)

「晩期の昭和」、その62年にスーパー「サミット」が東中野4丁目に出店した。それが分水嶺となった。6軒の肉屋は次々と撤退し、全てなくなった。東中野ギンザ通りは、存亡の秋(トキ)を迎えた。

「サミット」出店の前日までは、東中野ギンザ通りは大売出しを組んで、集客は成功していたが、開店後の「サミット」の売り場に生鮮三品が文字どおり山積みになっていて愕然とした。

知人が、高田馬場から車で「サミット」に買物に来ていた。

「サミット」出店以後の東中野の変貌がすさまじい。山手通りの大深度に地下鉄大江戸線が開通し、その上の地下に首都高速中央環状線が出来た。山手通りは約20年にわたる拡幅を終え、幅40mの歩きやすい道となった。

地下に道路だから、換気塔が必要となる。高さ45mの塔が林立することになった。今まで見たことのない風景となった。

すでに JR 東中野駅は積み木を積んだような形に改築されていた。その前に駅前広場が交通広場として出来た。今はいつも客待ちのタクシーが止まっている。ちいさな駅ビル「アトレ・ビィ」が出来た。

東中野ギンザ通りには、戦前から「福助寮」があった。昔は「福助足袋」で有名だったが、その頃は東洋不動産の所有になっていた。「福助寮」の跡地は、商店会で借りて駐車場として、利益を上げていた。再開発は誰の眼にもあきらかだった。



高橋 立男様

平成11年、福助寮跡地にスーパー「ライフ」が開店した。その頃は、中堅の食品スーパーと言われていたが、近頃では、テレビで大型スーパー「ライフ」と呼ばれている。

東中野ギンザ通りは「ライフ」の集客力に依存して小判ザメ商法で生きてゆく。

続いて、平成12年には中野電車区の一部にDIY「シマチュウ」が出店し、東中野にはボディプローとなった。

「八百丑・丸忠商店」は明治創業で、百年を越える老舗である。東中野で百年を越える老舗はホカニ東中野5丁目の「小野田豆腐店」がある。

コロナ禍の最中、令和2年6月「west53rd日本閣」が廃業・解体された。東中野と言えば「日本閣」と言われた時もあったのに、残念な出来事だった。「日本閣」は昭和初期の創業であった。

東中野ギンザ通りに昭和・平成・令和と生き残った店は、20%位だろう。80%の店が撤退した。現在、医院・治療院・美容院系がそれぞれ10軒ほどある。

令和3年までの移り変わりは以上のようなもので、地球上のどの大都市もそうして変わってゆくのであろう。



八百丑 丸忠商店



換気塔

## マスコットキャラクターの愛称 決定!!

マスコットキャラクターの愛称が決まりました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

子犬の名前は「しょうわん」

メジロの名前は「わっぴ」

に決まりました。

名前が採用された方、応募していただいた方には記念品をお送りいたします。

「しょうわん」と「わっぴ」を  
可愛がってくださいね♥

しょうわん



わっぴ



©YURIE